



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 2月号
平成30年1月31日
発行責任者：野田 豊

持久走大会

副校長 相原 和子

暦の上では大寒を過ぎた1月22日、東京でも4年ぶりの大雪が降りました。広い校庭も真っ白になりました。20センチ以上積もった雪はなかなか溶けず、子供たちも外遊びができず、うずうずしているようでした。その校庭で2月10日（土）の学校公開日には、持久走大会を行います。

1月から持久走月間が始まり、持久走朝会、中休み等で走る練習をしています。また子供たち一人一人にカードが配られました。各自走った分だけ色を塗っていき、自分がどれだけがんばったか、わかるようになっていきます。

しかし、校庭を走ること、しかも寒い中で走ることは、そう簡単なことではありません。運動が好きで得意な子もいますが、そうでない子は「いやだなあ」「はやくおわらないかなあ」と思いながら走っていることでしょう。それでも持久走朝会で5分間走りきったとき、中休みの音楽がかかっている間走りきったとき、また自分のカードに色が塗られていくことで、子供自身ができた・がんばったと感ずることが出来ます。

持久走大会の目的は、「健康な体を作ること」「自ら運動に親しもうとする態度を育てること」そして「自分の目標を立て、それに向けて努力する態度と意欲を育てること」にあります。特に3つめの「自分の目標を立て・それに向けて努力する」ことがとても大切だと考えています。人と比べるのではなく、自分がどうするか、どうしたいか、何を目標とするか。それを自分で考え決めて実行します。「毎日5週走る」子もいれば、「一日1回は1周する」子もいるでしょう。それはその子自身が決め、その通り実行できることが大切です。

持久走朝会で、ある子供と一緒に走りました。どちらかというと、走ることが好きではない子です。「最後まで走ること」を目標にしていたその子に「友達と比べなくていいよ、自分のペースで最後まで走りきることが大切だよ。」と声をかけると「はい」といって、最後までペースを崩さずに走りきっていました。音楽が終わり、はじめの位置に戻っていったその子はとても満足そうな表情をしていました。

持久走大会に向けて、ご家庭では、体調管理と励ましの言葉をお願いします。そして、当日は子供たちのがんばりをぜひ応援してください。寒さが予想されますので、温かくしてご来校ください。

